

資料提供年月日	平成26年8月11日	
問い合わせ先	課名	事業政策課
	電話	直通 803-1042 内線 3592
担当者	職名・氏名	課長代理 赤坂
	職名・氏名	主査 中島

広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

1. 件 名

歴史まちづくり回遊社会実験について

2. 内 容

最適提案者である(株)電通西日本岡山支社との協議の結果、実験の実施概要が固まりました。

事業名称「岡山未来づくりプロジェクト」

岡山城本丸等 「Imagineering Okayama art project」

現代アート「石川コレクション」の展示

旧内山下小学校跡地・石山公園「ハイコーチャレンジ!!Okayama Culture project」

校舎を活用したカルチャーイベント、石山公園でのマルシェ、マーケットイベント

3. 今後の予定

平成26年 9月 旧内山下小学校跡地・石山公園で事業開始

11月 岡山城本丸で事業開始

全体事業名称

岡山 未来づくり プロジェクト

- 中期的に岡山市が世界的なアート&カルチャーの街として「瀬戸内のハブ化」となるための第一歩。
- 岡山城・後樂園という歴史資産に周辺地域も含めて回遊を高める街全体のフェスティバル化を目指す。
- 歴史文化資産や景観などを市の誇りとして後世へ継承できるよう魅力価値の向上を図る。

岡山城本丸・中心部各所

Imagineering

OKAYAMA ART PROJECT

期間：11月2日～12月25日

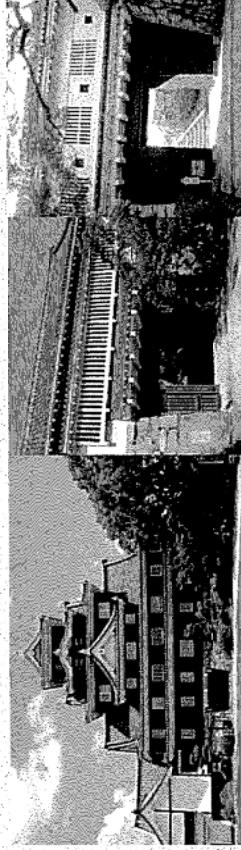
プロジェクトメンバー（3名とも岡山県出身）

代表 石川康晴（クロスカンパニー）

アートバイザリー / エキジション・スペース・デザイン 片山正通（ワンダーウォール）

アートアドバイザリー 那須太郎（TARO NASU）

現代アート「石川コレクション」の展示



旧内山下小学校跡地・石山公園

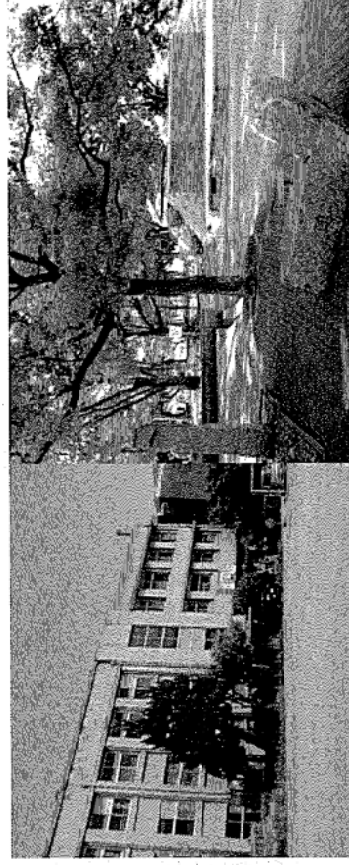
ハイコーチャレンジ!!

OKAYAMA CULTURE PROJECT

期間：9月7日～12月24日

実施団体：NPO法人ENNOVA OKAYAMA

校舎を活用したカルチャーイベント、石山公園でのマルシェ、マーケットイベント

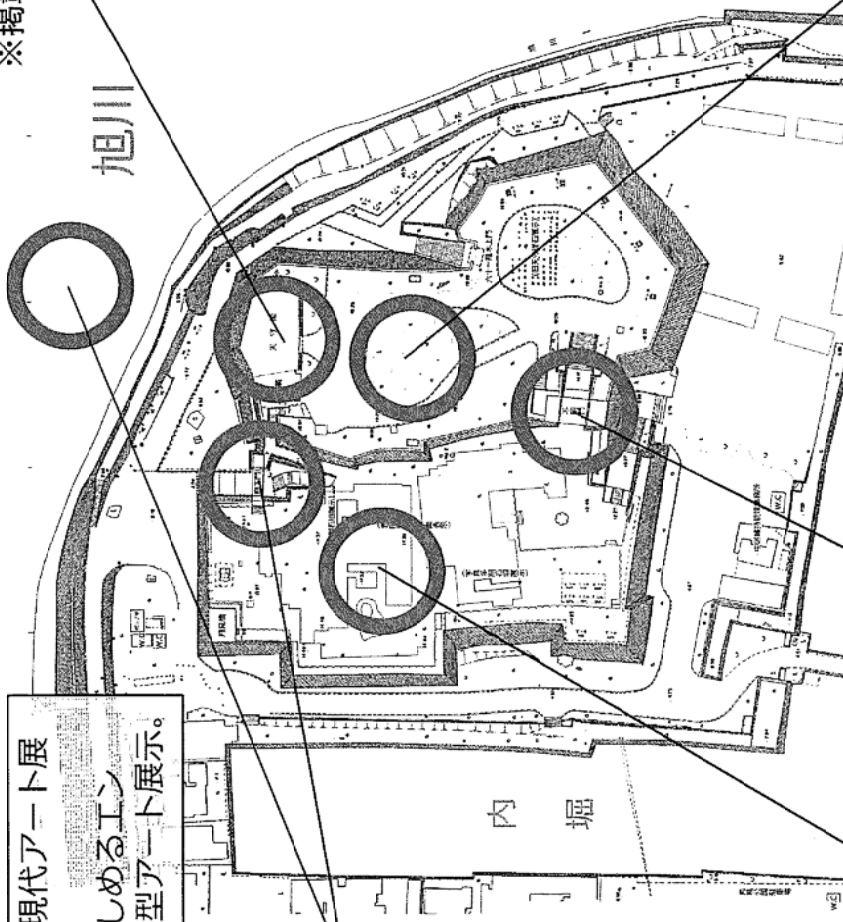




Imagineering OKAYAMA ART PROJECT の概要

▶ 城という歴史文化資産を活用した現代アート展示を実施。
 ▶ アートファンもアート初心者も楽しめるエンターテインメント性を重視した体験型アート展示。

※掲載写真の二次利用は禁止です。



① 旭川・岡山城廊下門

島袋道浩

「白鳥、海へゆく」
(イベントと映像作品)

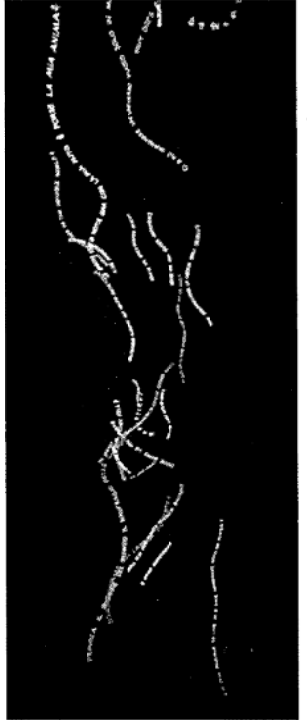


© Shimabuku

② 岡山城本丸中の段

フィッシュユリ&ヴァイス

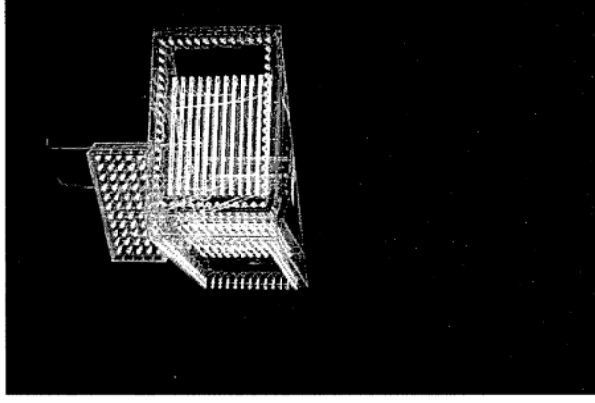
Untitled (Question projection, big)



© Peter Fischli / David Weiss

③ 岡山城天守閣入口

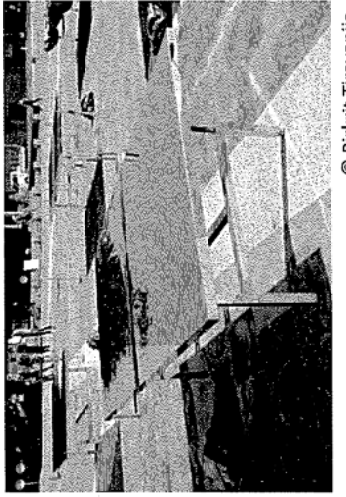
フィリップ・パレーノ
「Marquee」



© Philippe Parreno

④ 岡山城本丸本段

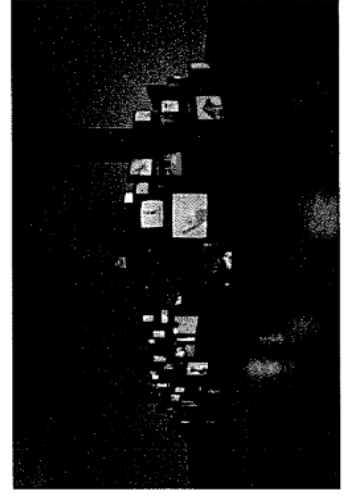
リクリット・テイラバーニヤ



© Rirkrit Tiravanija

⑤ 岡山城不明門

ダグラス・ゴードン

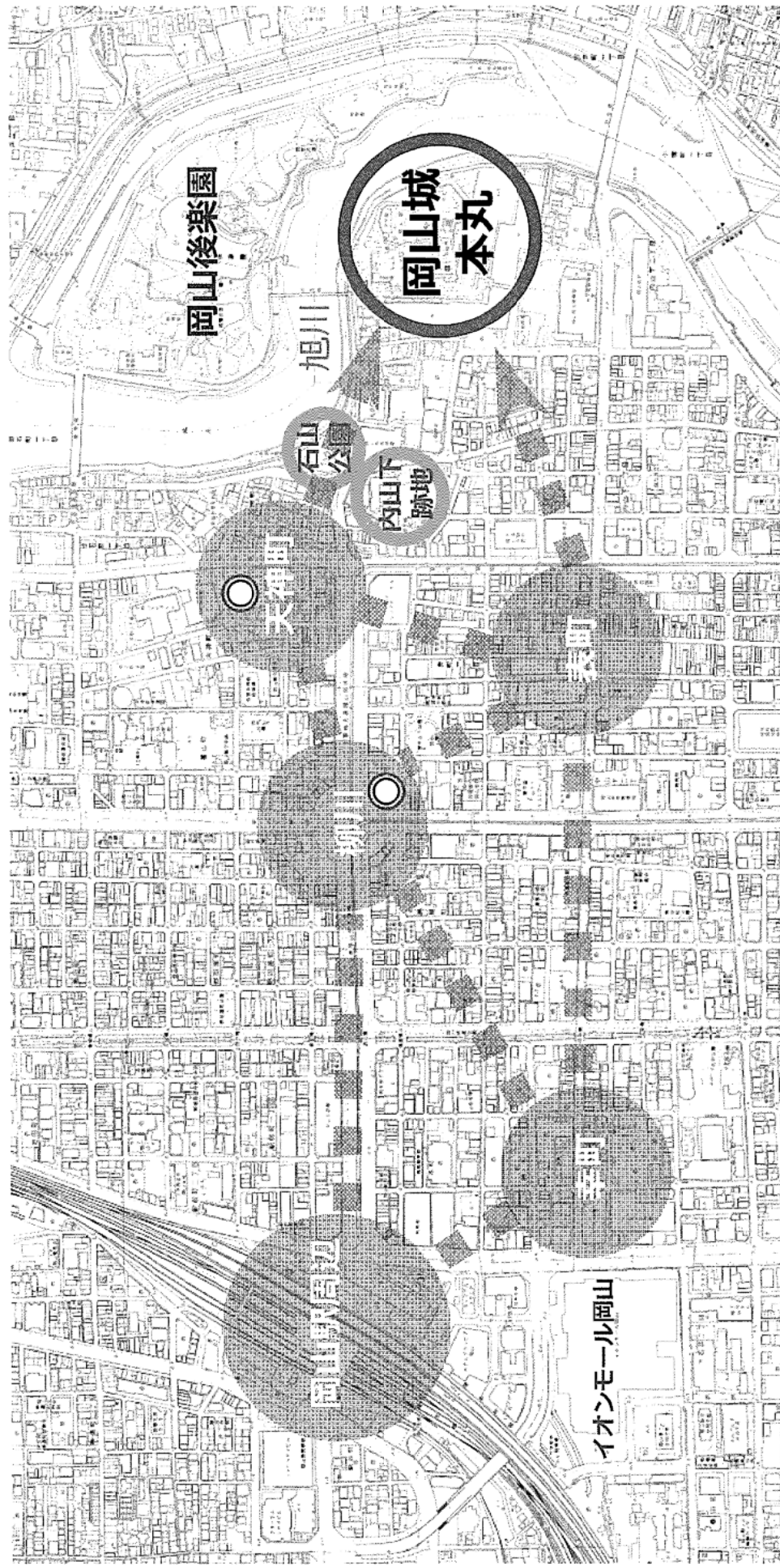


© Douglas Gordon



Imagineering OKAYAMA ART PROJECT 中心市街地での展開

- 岡山駅周辺から岡山城への動線上を中心に、下記エリアそれぞれに数か所ずつアートを展示
(例：中山下一丁目のビル、後楽館天神校舎跡地、市役所など)
- 中心市街地・カルチャーズゾーン全体の回遊性向上、岡山駅方面からの誘導、機運向上を図る



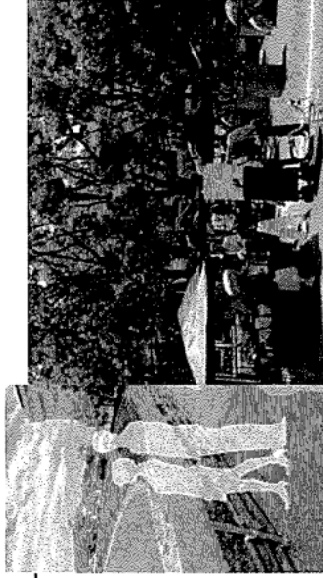


ハイコーチャレンジ!!! OKAYAMA CULTURE PROJECT の概要

石山公園

9月～12月のうち16日間開催

- ▶ 岡山城・旧内山下小跡地・後楽園をつなぐハブ空間であり、カルチャーズゾーンのイベントランス。
- ▶ 川と花・緑、岡山城の眺望、地域の憩いの場。また観光客と地域住民が出会う場・回遊の起点。
- ▶ コミュニティやネットワークが生まれる「おもてなし」と賑わい・憩いの場のあり方を実験を通して発見。



実施事業

- インフォメーションコーナーの設置
- 社会実験の案内所。回遊の促進。
- 地域での交流をめざしたイベント
- おそうじフェス、Share会議など
- マルシェ・フリーマーケット
- 満月Bar、多国籍グルメフェス、学生フェス
- 実験的に堤防路柵にバーカウンターを設置

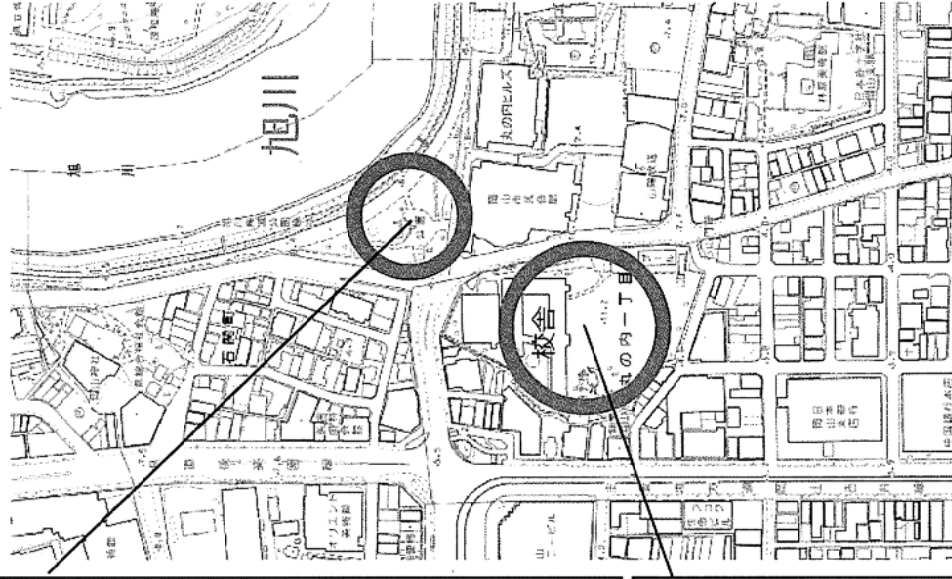
旧内山下小学校跡地

9月～12月のうち47日間

- ▶ 旧内山下小跡地（校舎）は中心市街地にあって貴重な存在感と歴史を感じる場所。
- ▶ 「学校」は教育と文化が生まれる場所であり、地域の人々が集い、つながる場所。
- ▶ 地域における「学校」という場所のあり方を見つめ直し、様々な主体と連携しながら活用策を実験的に展開。

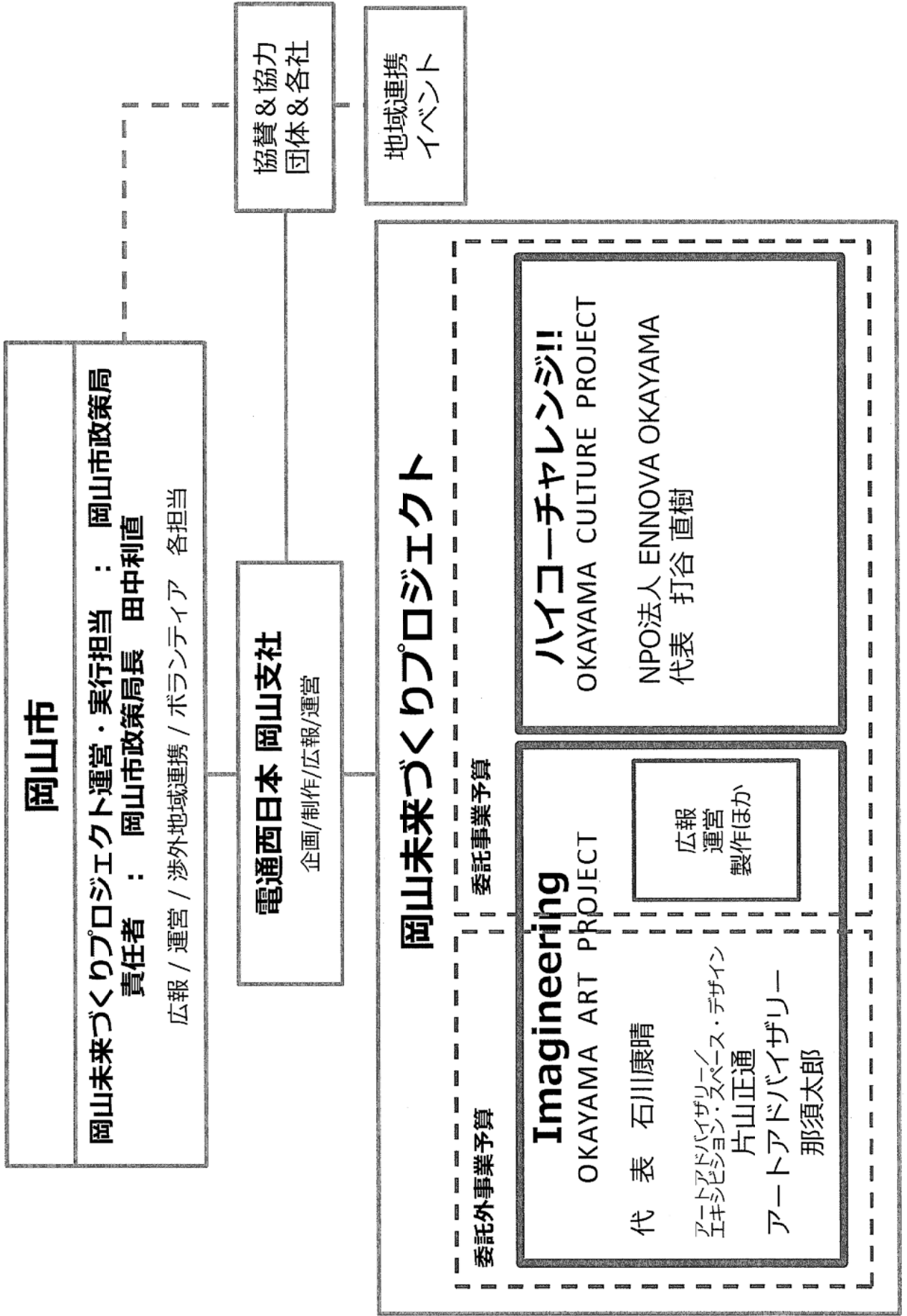
実施事業

- 校舎・校庭などを活用した各種イベント
 - おそうじフェス、マチノbonオドリ、マチノブンカサイ、芸術祭
- 校舎内教室の貸し出し
 - 地域住民・各種団体の催し・行事
- ギャラリーの運営
 - 若手作家・アーティストの発表と販売
- カフェの運営
 - 観光客と住民の憩いの場。自主事業としての可能性を実験
- NPO及び各種団体による活用の支援
 - 様々なNPOによるワークショップやESDに関する取組などの活用を支援





推進体制



岡山城本丸展示作品 (案)

①旭川・岡山城廊下門

島袋道浩

白鳥、海へゆく

白鳥の形を模した足漕ぎボート。波のない水面をゆっくり移動して景色を楽しむべく作られたこのボートにのって川を下り、未だ見ぬ大海瀬戸内海を目指そうとする、その「意識的に無謀な」行程をおさめた映像作品。

声高にコンセプトを唱えるのではなく、日常生活に存在するわずかなズレをきっかけとして、鑑賞者の常識や固定観念をくすぐり新たな発見を促すような作品で知られる島袋。

見慣れたはずのスワンボートと、見慣れたはずの河口の風景、そんな慣れ親しんだもの同士が組み合わせられることで発生する違和感と驚きは、「出会わないものを出会わせる」ことで新たな感情を生むという、まさに島袋の意図するところであろう。

②岡山城本丸中の段

フィッシュリ&ヴァイス

Untitled (Questions projection, big)

長年アーティストに尊敬されるアーティストとして評価されてきたスイスの二人組アーティスト、フィッシュリ&ヴァイス。

2003年に発表された本作品は黒い背景のなかに四カ国語でさまざまとりめもない質問が白く浮き上がる映像作品。第50回ヴェニス・ビエンナーレにて金獅子賞を受賞した作品としても知られている。

平易な言葉で世界の意味や人間存在について問いかけ、コンセプチュアルアートのひとつの到達点をあらわしたものといえよう。

③岡山城天守閣入口

フィリップ・パレーノ

Marquee

本作品はパレーノの代表作ともいえる彫刻シリーズのひとつ。

タイトルとなったマーキーとは、劇場の入口などに設置される電飾付きのひさしのこと。それが取り付けられた建物の中で演劇や映画など何らかのエンターテインメントが行われていることを通行人に示すためのサインである。

パレーノのマーキーシリーズは元来「注目を促すための存在であったものを、注目するという行為の対象そのものとした場合どうなるか？」という考察から生まれた。マーキーの自己言及的な機能、すなわちそれ自体が注目を引きつけるという特性を呈示しながら、パレーノは「注目する」ことをめぐるエネルギーの大きさ、そこに発生する支配・被支配の関係をおしはかろうとしている。